

本年度の大学進学状況（現在判明分）

国公立大学 現役130名、浪人22名 合計152名

難関10大学合格者数…18名（15） 医学部医学科…12名（6）

薬学部薬学科…2名（1） 農学部獣医学科…2名（2）

難関10大学 一橋大…2名（2） 名古屋大…1名（1） 京都大…2名（2）

大阪大…5名（4） 九州大…8名（6）（ ）内の数は現役合格者数

国立大学医学部医学科 九州大学2名 熊本大学1名 宮崎大学7名 鹿児島大学1名

私立大学 現役195名、浪人29名 合計224名（延べ数）

3月23日(月)までに国公立大学合格者が発表され、上記のような結果となった。合格者の多い大学は宮崎大学35名 鹿児島大学23名 九州大学8名 広島大学6名 熊本大学9名であった。

今年は、現行入試制度最後となった。その影響から全国的に浪人を避けるため手堅い受験をする生徒が増えた。しかし本校生徒の多くが「行ける大学」ではなく「行きたい大学」にこだわり、強気の出願を行った。特に難関大学については、対策を練り、しっかりとした力を計画的につけていったことによる挑戦であった。それがこれだけの素晴らしい結果につながった。普通科から一橋大学、九州大学に合格、医学科に合格した生徒も2年連続で出たことも嬉しいことである。また国立大学医学部合格者数2桁突破は恐らくここ20年で初めての快挙ではないかと思う。浪人生が6名合格したが、これは妥協せず自分の志望を貫いた生徒が多かったということを示している。前期が終わっても多くの生徒が後期試験直前まで試験対策で登校し、先生からの指導を受けていた。この学年の特徴を箇条書きにまとめると次のようになる。

①明朗で元気

廊下を歩くと誰もが気さくに大きな声で「おはようございます!!」とあいさつしてくる。授業が大きなあいさつから始まるので雰囲気も良好であった。受験生活は「明るく元気に」取り組みたい。

②自発的学習

添削ノートを持って来る生徒、難関大の過去問題集を借りに来る生徒、夕課外の終わった後に特別指導を受ける生徒も多く7時過ぎまで活気にあふれていた。放課後、朝、土日に大会議室で自習する生徒も例年以上に多かった。「やらされるのではなく自分から求めて勉強する」姿勢が最も大きな効果を生むのである。

③学級担任との信頼関係

今年は、学級担任の先生との面談が頻繁に見られた。特に9月に担任の先生方の多くが2者面談を行っていたのは印象的であった。進路のみならず学習計画のチェック、どのような模試を受験すべきかなど素直に担任のアドバイスを耳を傾けていた。我流に走らず、他者のアドバイスを耳を傾けることができた生徒ほど大きく伸びていった。担任の先生との強い信頼関係があったからだと思う。

④部活動生の活躍

今年も多く部活動生が合格した。難関大学、難関学科合格についても部活動生が多かった。「文武連道」を見事に成し遂げることができた理由は、部顧問の先生方が頻繁に進路室に姿を現し、生徒の状況や進路希望などを把握しいろんな声かけをしたこと、部員達もその期待に応えようと、部活動と勉学をきちんと切り替えたこと、部活動で体力、精神力を培いタフであったこと、目的、目標を明確にしてメリハリある生活を部員同士で自律的に行ったこと等があげられるであろう。

今後に向けて

①基礎基本を大切に

来年から大学入試改革により、入試制度が変わってくる。不安な人も多いと思うが、入試がどれだけ変わっても基礎基本がしっかりしている生徒は大崩れしない。まずは授業で学習したことを確実なものにすることが大切である。また大学入試共通テストでは、あやふやな知識が全く役に立たない。学習するときには確実な知識を得ることを意識しよう。

②定義や定理を重要視せよ

例えば、数学の定理や公式はその証明に面白い発想が含まれていて新入試問題の材料になりやすい。定義や定理の意味、証明やその背景までじっくりと教科書を読み込む勉強を行う必要がある。

③背伸びしよう

本年度大阪大学に合格した4名は当初から目指していたわけではなく担任や教科担任のすすめで志望するようになり、力を伸ばして合格できたという。自らの潜在能力を覚醒させるためには、今の成績よりも少し上の目標を持ってがんばることが必要だということを示すエピソードである。目標を上げたら「いつまでに何ができるようになるか」を明確にし計画的に取り組むことが大切だ。3年生は、7月下旬から始まる大学別オープン模試でC判定以上をとる為は何をしなければならぬのか、担任の先生や教科担任の先生方に相談して計画を立てて取り組んでみよう。

④英語検定で救われた生徒続出

宮崎大学工学部は英語検定2級を取得している生徒は、個別学力試験の英語は試験免除で満点とされる。他の大学でもこのような加点、換算処置等で有利な条件を得て合格できた生徒が多かった。高大接続改革の流れからこの傾向は今後ますます強くなることが予想される。

⑤たった一人でも勉強できるか

勉強は、本来一人でやるものである。孤独に耐えられるかは諸君の希望進路に対する思いの強さが決め手となる。志望に対する思いが強ければ強いほど「勉強」を他人からやらされるのではなく自らやるようになる。ぜひ今日から計画を立てて取り組んでみよう。